

重度・重複障害児が地域で参加可能な「スポーツの場」を作りたい！

■ 活動する地域

広島県坂町

■ 団体名

HBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室
「はなまるキッズ」

■ 基礎データ

継続年数	14年間
活動分野	スポーツ
主な対象	重度・重複障害児
主な連携先	大学、企業等
団体の規模等	350名（うち子供83名、ボランティア112名、大学生155名）

活動の概要

身体及び知的にも最重度の障害がある子供を対象とした「アダプテッド・スポーツ」を毎月1回実施している。学校や施設、病院以外で運動・スポーツに親しむ貴重な場となっている。地域の大学の協力もあり、各分野の専門的知見のある質の高いボランティア支援者が活動を支えている。独自に開発したスポーツ種目は他県にも広がっている。

■ 活動の内容

子供の障害の状態等にあわせて、運動・スポーツのルール、用具、指導法等を独自に考案・工夫し、重度障害があっても参加可能とした「アダプテッド・スポーツ」を毎月1回実施しています。

参加している子供は、重度の知的障害に加え、中には吸引や注入等の医療的ケアを必要としている子供もいます。脳性まひを原因とする重い身体障害があり、体力や筋力低下等により十分な運動量の確保が難しいといった課題もあります。

子供たちは、日常生活の常態であるベッド・車椅子等から降りて、必要な支援を受けた姿勢保持を基本とした運動・スポーツを楽しんでいます。主な活動種目は、スクーターボード（写真1）、スローベンチ椅子ラジオ体操（写真2）、トランポリン、マット・ローラー、風船リレー、シッティングふわふわ風船バレーボール、プール、スタンドアップパドルボード等です。通常通う学校や施設・病院とは趣が違ふ場所で、運動・スポーツができる数少ない貴重な場となっています。



写真1 手作りの台車に乗って楽しむ走行運動

■ 活動の経緯・体制

障害のある子供が、家庭や学校・病院以外で「楽しめる場所づくりをしたい！」「参加できるスポーツ教室を定着させたい！」という思いから、2007年4月に活動を開始し、今年で15年目を迎えました。

特別支援学校教諭を中心に、医療・福祉職など多職種の方や、大学生が支援者として参加しています。

■ 活動の効果・普及状況

活動の際には、子供が車椅子等から降りていろいろな姿勢で参加可能となるように用具を自作したり、独自に指導法を工夫したりしています。保護者からは、「子供の表情が嬉しそう」「安全に思いっきり体を動かせる」「他にはないダイナミックな活動ができる」などの感想が寄せられており、参加者も増加しています。

■ その他（団体紹介や参考情報等）

フェイスブックはこちら

<https://www.facebook.com/hanamarukids/>



写真2 特製のベンチ椅子に座ったラジオ体操